

消防団の定員の見直しは

地域等の意見を伺いながら検討していく



やま かみ かつ よし
山上 勝由
自由民主党田原市議団



消防団の維持について

問 訓練の見直しにより、どの程度負担軽減が図られたのか。

答 操法大会の廃止により訓練が20日以上削減、式典の集約や訓練内容の見直しにより、参加時間や回数の削減ができ、負担軽減につながった。

問 団員の安全対策は。

答 活動服など団員への貸与品は、より安全性の高いものに更新している。また、消防職員による安全教育を実施し、団員の安全確保に取り組んでいる。

問 消防団に入団するメリットは。

答 災害から自分自身や大切な人を守る知識や技術などが身に付く。また、消防団応援事業の登録店舗で、代金の割引などのサービスが受けられる制度を団員だけでなく家族も利用できる。

問 消防団活動や入団のメリットをどのように周知していくのか。

答 既存のPR媒体に加え、動画配信やSNSなどの活用も視野に入れ、入団のメリットを広く市民が目

にするよう情報発信に努めていく。

問 消防団定員の見直しをどのように考えているのか。

答 定員見直しが必要だと思われる分団については、地域等の意見を伺いながら検討していきたい。

問 消防団の組織力を維持していくための考え方は。

答 分団内の詰所の集約を視野に入れた体制の見直しが必要であると考えている。

問 分団内詰所の集約を今後どのように進めていくのか。

答 消防団、地域等と連携し、持続可能な消防団の構築に努めていく。



赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理について

赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理は、利用者の方々に安心して利用していただける運営管理をしていく



ない どう き く え
内藤 喜久枝
自由民主党田原市議団



問

施設の一部が使用困難になった場合の対応は、まず状況を把握した上で、速やかに現地確認を行い、安全を最優先に対応していく。利用状況や影響範囲を踏まえ、必要な補修、応急措置を実施し、市民サービスの維持に努めていく。

答

令和8年度に施設解体に向けたアセスメント調査を実施、令和9年度に実施設計、令和10年度に建設工事に着手、令和11年度の供用開始を見込んでいます。

問

複合施設建設について、現時点での準備状況や建設予定、供用開始時期など、今後のスケジュールの具体的な見通しは。

答

現施設の状況を的確に把握し、利用者の方々に安心して利用してもらえる施設運営に取り組んでいく。

問

赤羽根市民センター等の複合化までの現施設の運営管理は。